

東北地方 3か月予報

(9月から11月までの天候見通し)

平成21年8月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。気温は、平年並または高い確率がともに40%です。東北日本海側の降水量は、平年並または少ない確率がともに40%です。

9月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みです。

降水量は、平年並または少ない確率がともに40%です。

10月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

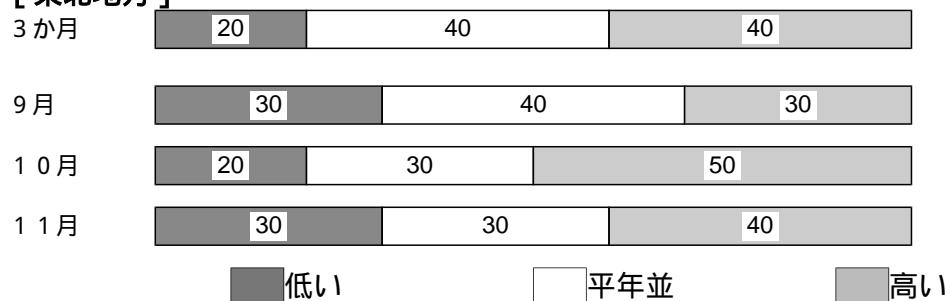
気温は、高い確率が50%です。東北日本海側の降水量は、平年並または少ない確率がともに40%です。

11月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

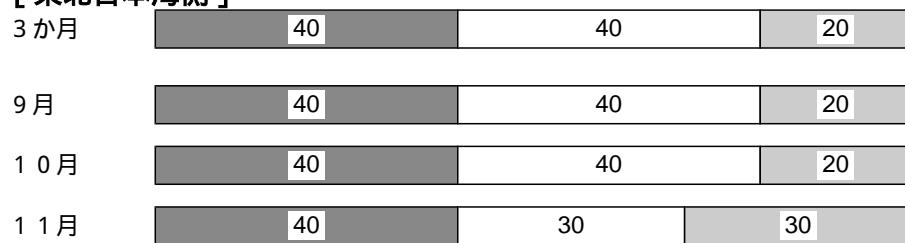
<<気温>>

[東北地方]

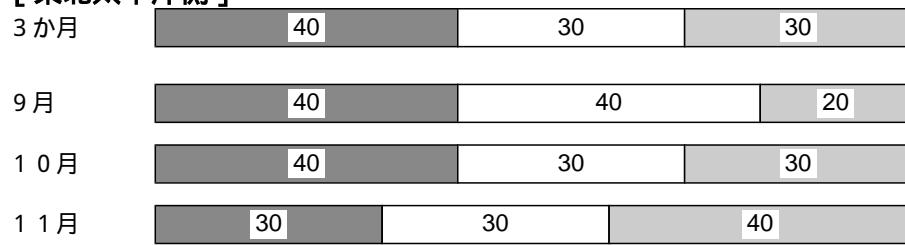


< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

< 次回発表予定等 >

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月28日

3か月予報：9月24日(木) 14時

寒候期予報：9月24日(木) 14時

9月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	9月	10月	11月	9月～11月	9月	10月	11月	9月～11月	9月	10月	11月	9月～11月
青森	18.9	12.6	6.4	12.6	119.8	106.0	131.7	357.5	160.0	152.9	91.4	404.2
深浦	19.1	13.3	7.5	13.3	176.0	165.6	147.2	488.7	155.4	135.3	71.4	362.1
むつ	18.0	12.2	6.3	12.1	172.7	115.4	115.4	403.5	144.4	159.9	106.5	410.8
八戸	18.6	12.7	6.6	12.7	167.7	77.0	61.2	306.0	144.1	163.1	136.5	443.7
秋田	19.9	13.6	7.6	13.7	177.9	160.7	183.5	522.1	154.9	148.1	84.7	387.7
盛岡	18.3	11.8	5.7	11.9	157.5	97.8	93.1	348.4	123.7	149.0	118.8	391.4
大船渡	19.3	13.8	8.2	13.8	218.7	142.3	104.5	465.4	119.1	146.9	139.5	405.6
宮古	18.6	13.1	7.7	13.1	229.4	105.7	85.6	426.7	123.0	155.8	146.3	425.1
仙台	20.4	14.8	9.1	14.8	218.4	99.2	66.8	384.3	119.8	151.8	140.2	411.8
石巻	19.9	14.2	8.3	14.1	163.1	104.1	65.1	332.3	134.0	159.7	149.3	443.0
山形	19.7	13.2	7.2	13.4	134.3	76.0	80.8	291.1	125.6	131.1	99.6	356.3
新庄	19.0	12.3	6.2	12.5	153.0	151.9	195.4	500.3	112.3	103.6	62.1	278.0
酒田	20.5	14.7	9.0	14.7	185.4	173.7	223.9	584.3	149.6	143.1	80.4	373.1
福島	20.7	14.8	9.0	14.8	169.2	95.3	63.4	327.8	112.6	139.3	130.6	382.5
若松	19.9	13.2	7.0	13.4	134.0	77.6	73.3	284.8	125.2	119.9	88.3	333.4
白河	19.1	13.2	7.6	13.3	215.9	111.9	65.0	392.9	111.3	144.2	146.4	402.0
小名浜	21.3	16.1	10.8	16.0	205.8	153.1	87.7	446.6	135.5	155.3	160.2	451.0

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	9月	10月	11月	9月～11月
気温平年差()	東北地方	-0.5～+0.2	-0.6～+0.3	-0.3～+0.5	-0.3～+0.4
	東北日本海側	-0.5～+0.3	-0.6～+0.4	-0.3～+0.5	-0.4～+0.4
	東北太平洋側	-0.4～+0.3	-0.4～+0.3	-0.3～+0.6	-0.2～+0.4
降水量平年比(%)	東北地方	86～110	83～105	80～107	95～107
	東北日本海側	83～108	88～107	92～103	93～111
	東北太平洋側	87～112	63～113	68～111	93～108
日照時間平年比(%)	東北地方	97～106	97～103	96～106	98～102
	東北日本海側	99～108	97～101	95～106	96～103
	東北太平洋側	97～106	99～106	95～105	98～103

(3) 接近する台風の平年値

	9月	10月	11月
東北地方	0.8	0.3	0.0

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料 (9~11月)

平成21年8月25日 仙台管区気象台

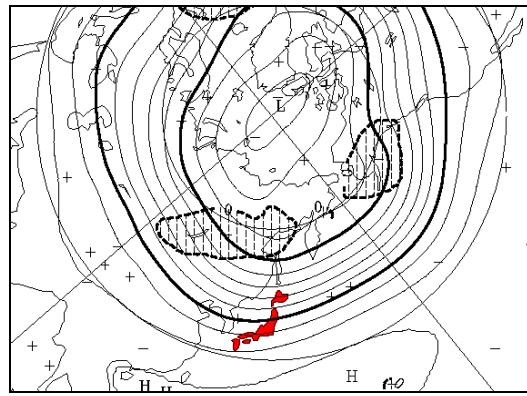
1. 向こう3か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
9~11月：	平年並または高い確率がともに40%	東北日本海側では平年並または少ない確率とともに40%。東北太平洋側では各階級の確率の偏りは小さい
9月：	各階級の確率の偏りは小さい	平年並または少ない確率がともに40%
10月：	高い確率が50%	東北日本海側では平年並または少ない確率がともに40%。東北太平洋側では各階級の確率の偏りは小さい
11月：	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい

2. 数値予報（アンサンブル予報）による大気の流れの予想

3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図（右図）：

予想図では、日本付近を含め北半球は広く弱い正偏差（平年より高度が高く、一般に暖気に対応）におおわれる。気温は平年並か高いと予想される。また、太平洋高気圧が平年より弱く、本州付近では暖かく湿った気流の影響が弱い見込みで、東北地方では日本海側を中心に平年並から少雨の傾向が予想される。



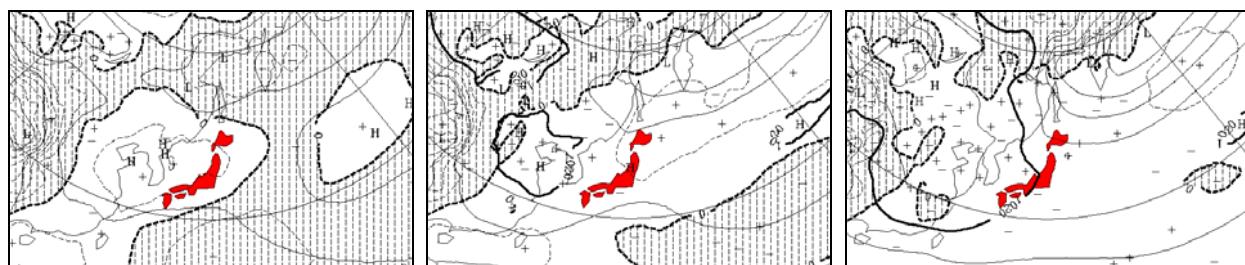
3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図
実線は等高度線60m毎、点線は偏差30m毎
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）

月別の地上気圧と偏差の予想図（下図）：

9月：日本の南東海上は負偏差で、太平洋高気圧は平年に比べ弱い見込みで、秋雨前線の活動は平年に比べ不活発と予想される。一方、日本海を中心をもつ正偏差が本州付近をおおう。天気は数日の周期で変わるが、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。

10月：北日本を中心に日本付近は東西に広く正偏差の予想。天気は数日の周期で変わるが、高気圧におおわれやすい傾向が予想され、東北地方は平年に比べ晴れの日が多い見込み。

11月：日本付近は弱い正偏差。また、カムチャツカ半島の南東海上も正偏差。アリューシャン低気圧は南側で平年より弱く、寒気の南下は平年より弱いと予想される。天気は数日の周期で変わることなく予想される。

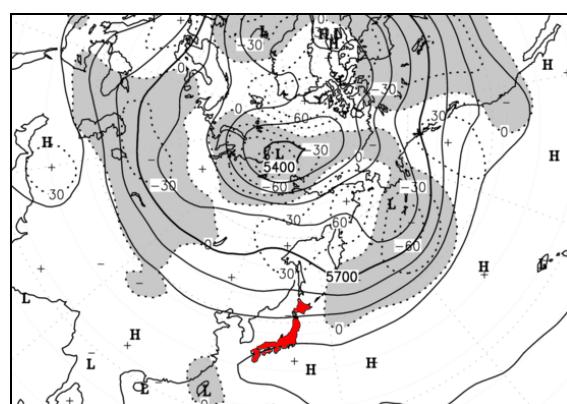


月別の地上気圧と偏差の予想図（左から9月、10月、11月）

実線は等圧線4hPa毎、点線は偏差1hPa毎、陰影部は負偏差

3. 今月の循環場の特徴

8月（20日まで）：500hPa高度では、日本の南海上が東西に正偏差となつたが、亜熱帯高気圧の日本付近への張り出しが弱かった。このため、東北地方では気圧の谷や前線の影響を受けやすく曇りや雨の日が多くなつた。また、東シベリアからオホーツク海にかけては正偏差、日本の東海上は負偏差となつた。東北地方で一時寒気や冷たく湿つた東よりの風の影響を受けたことに対応している。



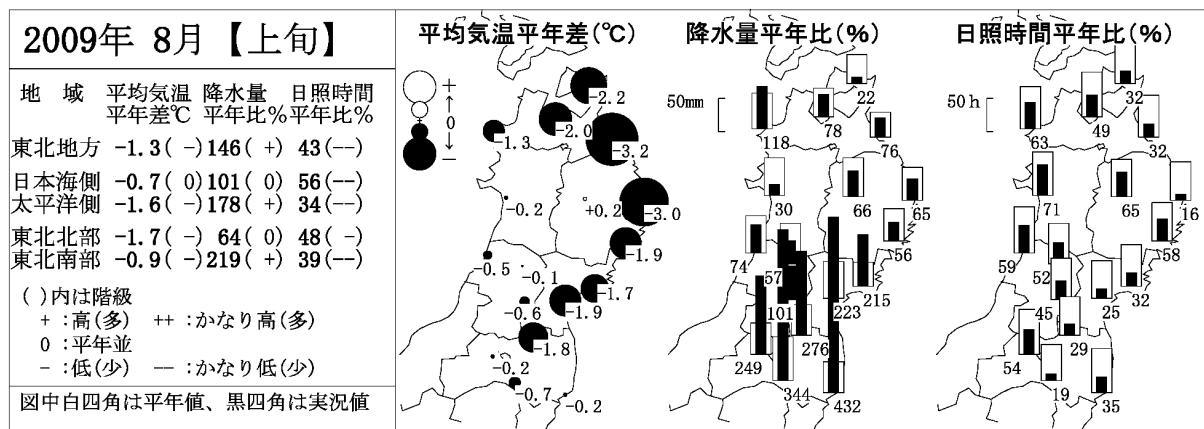
8月1日～20日の平均500hPa高度

実線は等高度線60m毎、点線は偏差30m毎、陰影部は負偏差

4. 最近の天候経過

8月上旬：気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。また、冷たく湿った東風の影響で東北太平洋側を中心に気温が低かった。10日は、台風第9号周辺の湿った空気が流れ込んだ影響で大雨となったところがあり、福島県では浸水害や山がけ崩れ害が発生した。

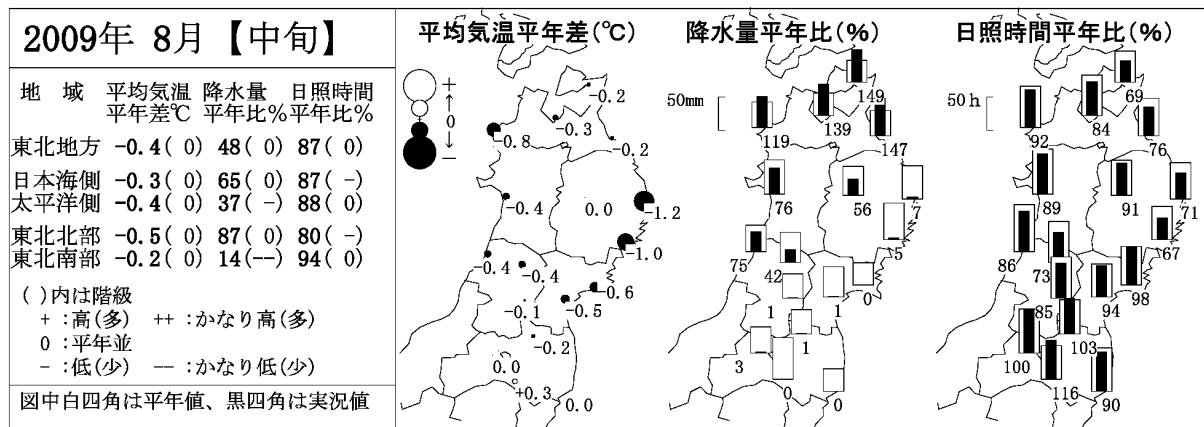
平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で低い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。



東北地方における8月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

8月中旬：期間のはじめと終わりは、気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多かったが、期間の中頃は、高気圧におおわれ晴れの日が続いた。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

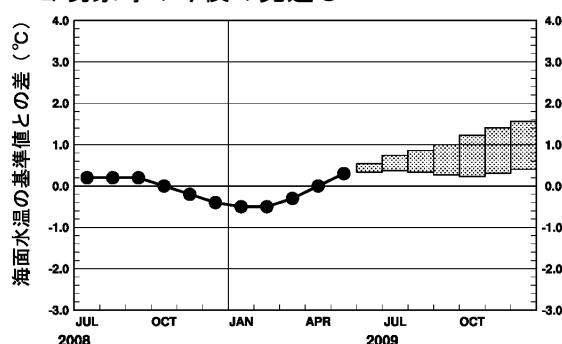


東北地方における8月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

5. 太平洋赤道域の海水温等の状況、及びエルニーニョ現象等の今後の見通し

7月の太平洋赤道域の海面水温は、ほぼ全域で正偏差だった。海洋表層（海面から深度数百mまでの領域）の水温も、太平洋赤道域のほぼ全域で正偏差だった。

エルニーニョ監視海域の海面水温は、予測期間中、基準値より高い値で推移すると予測される。エルニーニョ現象は冬までは持続する可能性が高いと考えられる。



エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の5か月移動平均値の推移（折れ線グラフ）と今後の予測（ボックス）

〈參考資料〉

平年の天気出現日数（日）

	9月		10月		11月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	14.3	13.2	14.8	17.6	9.2	17.7
雨の日	12.5	12.0	13.0	8.8	15.8	8.1

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」を用いています。